

100%ワクチン接種方針



米原市民報

日本共産党米原市議員
山脇正孝 Tel.52-1093
日本共産党湖北地区議員団
事務局藤田正雄 Tel.55-1527

議会でしっかりした議論を

<http://www.jcp-maibarashigidan.com/>

前号の「雑感」に市で新型コロナウィルスワクチンの予防接種についての協議がなされたこと書きました。どのような計画なのか質問があり市当局に聞き取りをしました。

接種対象者は市民全員は

今回の計画で接種対象者は市民全員とされています。人口は38,524人で2回接種77,048回となります。接種区分は左表のとおりです。

区分	医療従事者	高齢者(65歳以上)	基礎疾患(64歳未満)	高齢者等	60~64歳の重復は除外	左記以外の人
人口比	3.0%	31.0%	6.3%	1.5%	6.5%	51.7%
人数	1,156人	11,934人	2,427人	578人	2,501人	19,928人

※左の欄から優先接種

接種方法は個別接種と集団接種

ワクチンの接種は、個別接種(各医療機関)と集団接種(市が設置する会場の接種)で実施予定(次表参照)とされています。

個別接種	<ul style="list-style-type: none"> 米原市地域包括医療福祉センターふくしあ、地域包括ケアセンターいぶぎ、市立長浜病院を想定。 市内各医療機関へ実施についての意向確認を行います。
集団接種	<ul style="list-style-type: none"> 4月中旬から実施予定で、湖北医師会と現在調整中です。 接種会場は、市役所統合庁舎および市民交流プラザ(レッチプラザ)内保健センターを検討しています。

想定されるスケジュールは

示された接種スケジュールは下図のとおりです。しかしワクチン確保をめぐって世界的に混乱しており、いろいろな情報がマスメディアで報道されています。日本がスケジュールどおりに確保され市町村に配分されるか不明です。

接種費用は無料。2年度予算は専決処分

新型コロナウイルスの接種費用は原則国が負担するので接種者負担はありません。米原市の総事業費は約2億2千万円と推計されて

業務概要	3月	4月	5月	6月	7月
接種予約		3月中旬から予約受付			
コールセンター		3月上旬から対応			
予防接種	高齢者(65歳以上)		3月中旬に接種券送付		
	高齢者以外	4月末接種券送付		3月下旬から接種	
				6月ごろから接種	

ワクチンだけの対応でない感染防止策を

おり、令和2年度分経費は緊急に必要として4千7百万円を市長の専決処分としました。しかしこのワクチン接種の対応はこれだけでいいのか。議会でのしっかりした議論が必要と考えます。

雑感

国会で「生活保護」が話題となりました。そのきっかけは菅首相が野党の質問で「コロナ対策で再度の個人給付」を求め、個人給付は考えていないと答弁をしたことです。そのあと共産党の小池晃書記局長の質問で生活保護利用者に対して3親等まで「扶養照会」を行なっており、利用を控える方がたくさんいることを指摘しました。その中で田村厚労大臣は「扶養照会は義務ではない」と3回も答弁しました。いま国のホームページでは「コロナ禍での生活保護利用は「ためらわず申請を」呼びかけています。米原市では福祉職員の傷害事件をきっかけに、検証委員会を開こうとしています。市民の立場での検証を

新型コロナウイルスについて多くの報道されている。しかし感染症防止の原則は三密防止やマスク・手洗いなどの個人の感染症対策と感染者の発見・保護・隔離であると考えられています。無症状感染者が市中に多数いる中で、検査体制は重要です。またワクチン接種は医療機関に新たな負担が増えます。接種者も副作用に対する心配もあり、医師の丁寧な対応が必要です。いかに医療者の負担を減らすのか。「100%接種」を目指す米原市に必要な手立ては何なのか。